

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax.026-227-2665
E-mail: nagakachiku@pref.nagano.lg.jp



輝かしい年を迎えて

長野家畜保健衛生所長 小林和夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお

迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、猛々しさを思わせる寅年が過ぎ、本年は、兎年。「兎」といえば、性質温順で、大きな耳を立て、周囲の物音を十分聞き分けて、パタパタと愛くるしく動き回る姿を想像してしまいますが、本来は、「卯」と書いて、植物が新に芽吹き、大きく生長し、繁茂する様を云い、春の到来を告げることを言うのだそうです。

寅年といえば、98年は長野オリンピック、74年は長嶋茂雄の引退、古く50年は、朝鮮戦争勃発などがあり、昨年12月にもアジア地域等で領土問題に関する事件が勃発し、いまだに緊張感が続いています。

私たち、畜産業界においても、宮崎県における「口蹄疫」は、概ね4か月に亘り、殺処分、消毒、ワクチン接種等の防疫措置がとられ、被害農家は、殺処分等の手当金対象農家が概ね1,300戸余、移動制限等監視区域の戸数は8,000戸弱と、まさに、寅年を象徴するような出来事でした。日本は、清浄国復帰へとスケジュールを進めていますが、隣国韓国では、今、口蹄疫が燃えさかってお

り、年末、年始の海外旅行客の動きに注意を払うことが重要となります。

一方、高病原性鳥インフルエンザは、鳥根県での養鶏場における発生のほか、野鳥類での確認が近県の富山県などで相次いでおり、これからの、動向が注視されています。

この様な情勢下にあって、私たちは、具体的防疫措置の実行責任者であることを深く自覚し、日頃、自らの技術研鑽に励むと共に、国の防疫方針に基づき、市町村、獣医師会・生産者団体等と連携・協力により、予防対策、発生時に備えた準備、通報に基づく迅速な初動対応に万全を期してまいります。皆様におかれましても、伝染病について、なお一層の意識向上を願い、農場へのヒト・車・物の出入りに際しての消毒等に万全を期し、日頃の衛生管理を適切に実施することで、ウィルス等の病原体の侵入防止を図るとともに、異常発見時の早期の通報等に留意いただくようお願い申し上げます。

新年早々から、無粋なご挨拶となりましたが、現在の韓国をはじめ、東アジアの家畜衛生情勢が緊迫した状況でございますので、ご容赦いただき、本年が皆様にとって、良い年でありますよう、祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。

韓国で口蹄疫が猛威をふるっています！！

2010年12月27日11時現在

韓国で11月29日に口蹄疫が再発生し、韓国全土に広がりつつあります。

口蹄疫の拡大はとどまるところを知らず、ついに12月25日からワクチン接種が開始されました。2,059農場の家畜約44万3千頭を殺処分する予定です(12月27日現在報道情報)。

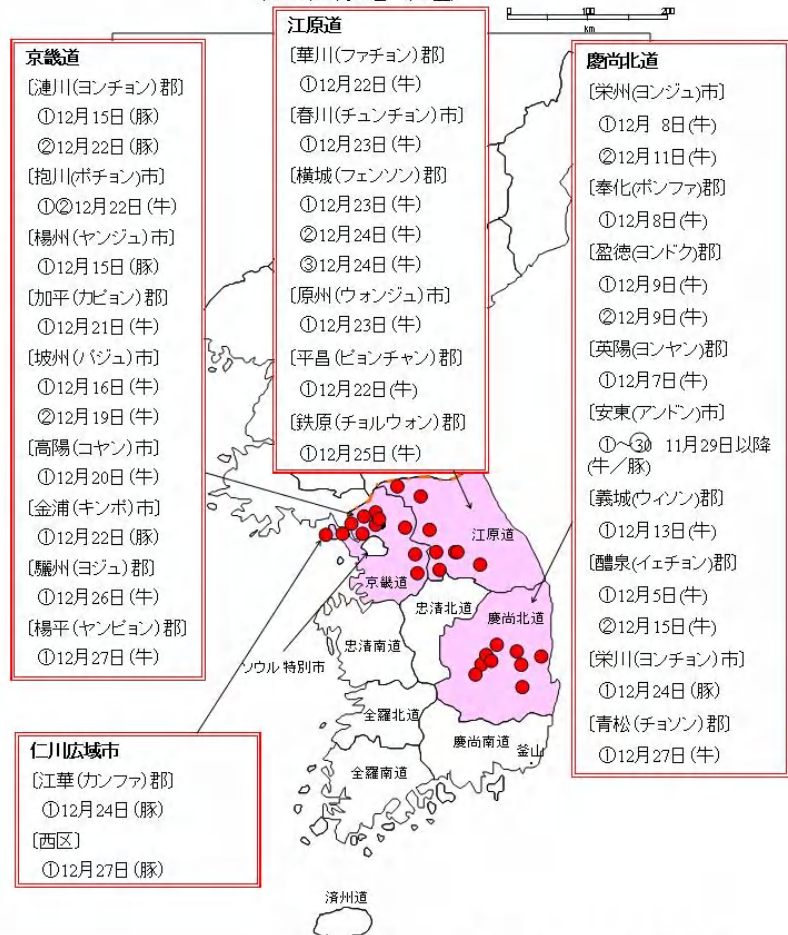
また、12月17日に台湾でも養豚場1戸で、新たに口蹄疫が発生しました。

口蹄疫は一度侵入すると、拡大を防ぐことが難しい疾病です。

農場へ口蹄疫を侵入させないよう、次のことを守りましょう。

韓国における口蹄疫の発生状況

(2010年11月29日～、O型)



【2010年12月27日時点の報道情報】

11月29日以降の一連の発生により、

2,059農場の家畜約44万3千頭を殺処分予定

※日付は確定診断された日 ※出典:OIEほか

- 自分の農場に入る際も、靴や持ち込む物の消毒を徹底しましょう。
- 外部からの人や車をなるべく農場に入れないようにしましょう。
- 畜産関係車をはじめ農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒しましょう。
- 出入りする人や車両を記録しておきましょう。
- 発生国に滞在していた人や発生国から輸入された物を農場に近づけないようにしましょう。また、従業員の方も含めて、**口蹄疫**が発生している国への渡航は、できる限り控えましょう。
- 野生動物が畜舎に入らないように施設などの点検をしましょう。
- **口蹄疫**を広げないためには、早期発見がとても大切です。毎日、必ず家畜を観察して、異常を認めた場合は、速やかに長野家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

電話 026-226-0923 (休日・夜間は担当者に転送されます)